

とっとり 土地改良だより



発行
みどり
水土里ネットとっとり
鳥取県土地改良事業団体連合会

〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地
TEL (0857) 38-9500
FAX (0857) 38-9577
印刷 日ノ丸印刷株式会社



農業・農村フォトコンテスト2021入賞作品「蕎麦と大山」江府町

目

○令和7年度「農業農村整備の集い」および要請活動	2～3
○令和7年度 鳥取県農業農村整備事業推進協議会 理事会及び通常総会	4
○令和7年度 中国四国水土里ネット女性の会総会	4
○鳥取県管理運営体制強化委員会	5
○鳥取県受益農地管理強化委員会	5
○令和7年度 第1回 監事会	6
○令和7年度 水土里ネットとっとり職員研修会	6
○「技術者への第一歩」- 新規採用職員研修の修了報告	7
次	
〔シリーズ〕	
○あつまれ、 ^{みどり} 水土里のなかまたち	8
○編集後記	8

令和7年度「農業農村整備の集い」および要請活動



全土連 二階 俊博 会長挨拶

6月18日(水)砂防会館別館「シェーンバツハ・サポー」(東京都)に全国の農業農村整備関係者1,256人が参集し、全国水土里ネット主催による「農業農村整備の集い」が開催されました。

農林水産省から小泉進次郎 農林水産大臣、滝波宏文 農林水産副大臣、庄子賢一 農林水産大臣政務官、山本佐知子 農林水産大臣政務官、前島明成 農村振興局長、青山健治 農村振興局次長、石川英一 農村振興局整備部長が出席されました。

政府与党からは、森山 裕 自由民主党幹事長、進藤金日子 全国水土里ネット会長会議顧問、宮崎雅夫 全国水土里ネット会長会議顧問の出席がありました。

最初に、全国水土里ネット 二階俊博 会長が主催者として挨拶し、次に小泉進次郎 農林水産大臣他、各来賓から祝辞がありました。

その後、水土里ネット佐賀 金澤智寿子 理事より、以下の要請文が読み上げられ、全会一致で採択され、集い終了後に鳥取県選出の国会議員に対し、この要請書を提出しました。

- 一 食料・農業・農村基本計画に基づき初動5年間で農業の構造転換を集中的に実施するとともに、国土強靱化実施中期計画に基づいた取組を一層推し進めるため、農業・農村を支え、守り、我が国の食料安全保障の確保に欠かせない土地改良事業をスピード感を持って推進できるよう、当初及び補正予算とあらゆる機会において、別枠を含めた必要な予算をしっかりと確保すること。
- 二 土地改良法の改正を受けて、制度の趣旨及び内容の十分な浸透を図ること。また、水土里ビジョンの作成を始めとする農地・農業用水等の地域資源を次世代につなごうとする土地改良区や土地改良事業団体連合会、市町村等の取組への支援や地方財政措置の充実を図ること。
- 三 国内の農業生産の増大と食料自給力の確保のため、地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、麦・大豆等の本作化、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促す大区画化、中山間地域におけるきめ細かな整備等の農地整備と情報通信環境の整備を推進すること。
- 四 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めるとともに、農地復旧についての農家負担の軽減に配慮すること。併せて、農村地域の国土強靱化のため、基幹から末端に至るまでの農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を推進すること。
- 五 自然的、社会的、経済的な情勢変化を踏まえ、高い公共性・公益性を有し、食料の安全保障の確保に貢献している土地改良施設の維持管理に対する支援を充実させること。
- 六 農村地域を支えている多面的機能支払や中山間地域等直接支払について、活動組織の体制強化や支援範囲の拡大等を図るため、更なる制度の拡充及び必要な予算の確保を行うこと。
- 七 ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進するとともに、中小規模の土地改良区を対象とした合併など、食料安全保障を支える土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 八 上記事項が確実に実施されるよう、今後、改定が予定される土地改良長期計画に位置付け、それらの推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

[要請活動] 令和7年6月18日(水)



農林水産委員会委員長
舞立 昇治 参議院議員



藤井 一博 参議院議員



内閣官房副長官
青木 一彦 参議院議員(秘書)



進藤 金日子 参議院議員

[要請活動] 令和7年6月19日(木)



内閣総理大臣
石破 茂 衆議院議員(秘書)



経済再生担当大臣
赤澤 亮正 衆議院議員(秘書)

令和7年度 鳥取県農業農村整備事業推進協議会 理事会及び通常総会

7月2日(水)湯梨浜町「水明荘」において、令和7年度 鳥取県農業農村整備事業推進協議会理事会及び通常総会が開催されました。

まず、通常総会に先立ち理事会が開催され、総会の提出議案が審議されました。

続いて、総会が開催され、20会員のうち16会員の出席があり、下記のとおり議案第1号から議案第5号まで原案どおり可決されました。

令和7年度 通常総会提出議案

- 議案第1号 令和6年度 事業報告について
- 議案第2号 令和6年度 会計収支決算について
- 議案第3号 令和7年度 事業計画(案)について
- 議案第4号 令和7年度 会計収支予算(案)について
- 議案第5号 令和7年度 会費の賦課及び徴収方法(案)について

また、議事終了後に鳥取県 生活環境部 自然共生社会局 水環境保全課 清水広明 課長 から集排事業の最近の情勢について、農林水産部 農業振興局 農地・水保全課 足立 誠 課長からNN予算の状況等について情報提供がありました。



広田 一恭 会長の挨拶



総会の様子

令和7年度 中国四国水土里ネット女性の会総会



広島県 猪垣会長 開会挨拶

6月24日(火)、岡山農業共済会館において、中国四国水土里ネット女性の会 令和7年度通常総会が32名の参加のもと開催されました。

中国四国水土里ネット女性の会は、令和5年2月に設立され、初代会長を本県のとっとり水土里の女性会 檀床会長が務めてきましたが、今後の役員選出及び活動を円滑に行っていくため、令和7年度から中国四国地域の9県で事務局を持ち廻りとする事になり、本年度の事務局は広島県が務められています。

開会にあたり、ひろしま水土里ネット女性の会 猪垣ふみよ 会長より「土地改良法が改正され、土地改良に関わる女性の力はますます重要となっています。今日は、ちょうど男女共同参画週間(6/23～6/29)の期間中であり、今年のスローガン『誰でも、どこでも、自分らしく』のように、土地改良にかかわる女性が自分らしく活躍できるように皆さんの協力をいただきながら活動していけたら」と挨拶がありました。

続いて、来賓の中国四国農政局 古賀 徹 次長からご祝辞をいただき、宮崎雅夫 参議院議員からビデオメッセージをいただきました。

その後、猪垣会長が議長となり以下の議事について審議し、すべて原案どおり承認されました。

- 議案第1号 令和6年度活動報告について
- 議案第2号 令和7年度活動計画(案)について
- 議案第3号 規約の一部改正について

その後、昼食をとりながら意見交換を行い、お互いに親睦を深めました。



参加者で記念撮影

鳥取県管理運営体制強化委員会

6月13日(金)に鳥取県土地改良会館において、令和7年度鳥取県管理運営体制強化委員会を出席委員8名で開催しました。

最初に、委員長である水土里ネットとっとり 中村 均 専務理事が「施設点検、相談業務、会計財務点検指導の3本柱で取り組んでいる。

また、昨年度は農業水利施設サポートセンターを立上げ、施設の管理・指導を行っており、管理運営体制強化の活動と併せて成果を出していきたい。」と挨拶しました。

続いて、中村委員長が議長となり、以下の議事内容について審議され承認されました。

- ・令和6年度鳥取県管理運営体制強化実績報告について
- ・令和7年度鳥取県管理運営体制強化実施計画(案)について

その後、中国四国農政局 土地改良管理課 川嶋 等 課長から土地改良区機能強化支援事業の経営診断、改善指導について、事業説明がありました。

また、土地改良技術事務所 川中正光 所長から土地改良区等への支援について、設計・積算対応・各種研修会・災害応急用ポンプ貸出・ため池防災支援システムの説明などの情報提供がありました。



委員会の様子

鳥取県受益農地管理強化委員会

6月13日(金)に鳥取県土地改良会館において、令和7年度鳥取県受益農地管理強化委員会を出席委員7名で開催しました。

最初に、委員長である水土里ネットとっとり 中村 均 専務理事が開会にあたり挨拶しました。

続いて、中村委員長が議長となり、以下の議事内容について審議され承認されました。

- ・令和6年度受益農地管理強化対策実績報告について
- ・令和7年度受益農地管理強化対策実施計画(案)について

その後、鳥取地方法務局 野田仁志 首席登記官から不動産登記制度の見直し、住所・名前の変更登記の義務化について情報提供がありました。

また、意見交換の中で委員から「所有者所在不明や相続放棄された土地の所有者調査方法」について質問があり、野田首席登記官からは、戸籍を調べても不明な場合は、裁判所へ相談し財産管理制度を活用する方法があると回答されました。



委員会の様子

令和7年度 第1回 監事会

令和7年度 第1回 監事会を6月23日(月)鳥取県土地改良会館において、監事3名の出席のもと開催しました。竹本芳宏 代表監事の挨拶の後、事務局より報告事項として以下の4項目について報告しました。

- (1) 監事会における指摘事項等の処理について
- (2) 外部監査について
- (3) 代表監事による会員との契約について
- (4) 令和7年度事業実施状況について

続いて、「監査項目の実施計画」に基づき、主たる監査である「令和6年度の決算監査」を実施しました。



監事会の様子

令和7年度 水土里ネットとっとり職員研修会

5月16日(金)土地改良会館において、本会全職員を対象とした研修会を開催しました。

最初に、松本昭夫 会長から「研修会の開催挨拶とあわせて、農業農村整備事業の予算や他県のほ場整備事業の動向について」話がありました。

その後、「個人情報の概要」として、動画による研修を行いました。

次に、本会の土地改良換地士から身近な話として、相続登記についての説明があり、最後に、ため池点検の点検箇所マップや写真データなどについて情報提供がありました。

研修会終了後には、リフレッシュルームで親睦会を行いました。今年度の新入職員の紹介や自己PR、職員が作った手打ち蕎麦がお披露目され、職員相互のコミュニケーションを図り親睦を深めました。



研修の様子



親睦会の様子

「技術者への第一歩」—新規採用職員研修の修了報告

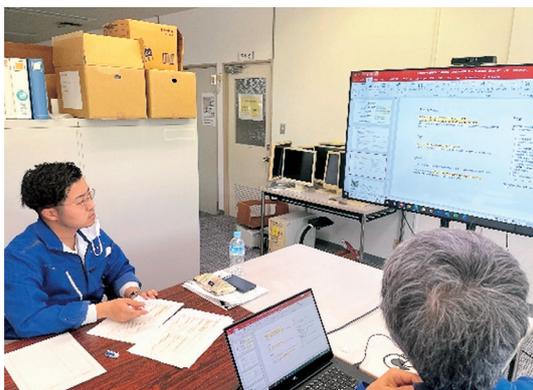
7月1日、今年度の新規採用職員研修が無事に修了しました。研修を通じて得た知識と経験を糧に、本会の職員として新たな一歩を踏み出します。

研修は5月12日(月)から7月1日(火)までの約1か月半にわたり実施され、農業土木の基礎知識および測量・設計業務の基本的なスキルを習得し、技術者としての基盤構築と業務への不安解消を目的としています。本研修制度は、昨年度より長期間として、内容の充実を図っています。

今年度の新規採用職員は1名ですが、配置転換などによる異動職員も対象とし、研修内容は農業土木概論、CAD操作、水理・構造計算、積算、測量、設計、災害対応など多岐にわたります。講師には、各業務に精通した熟練技術者を配置しました。

研修終了後には、講師との個別面談により理解度を確認し、部門長と共にOJTシートを完成させます。さらに、研修から半月後および1年後に振り返りを行うことで、継続的な学習と成長を支援する体制を整えています。

研修を終えた職員からは、「研修期間を通じて、広範な基礎知識を身につけ、業務理解が深まったことで、不安が軽減され、他部署との連携もしやすくなった」といった前向きな感想が寄せられました。今後も研修内容の充実を図り、新規採用職員にとって意義のある、成果の上がる研修を目指してまいります。



水理計算の講義



土地改良施設現地視察
(淀江地区ほ場整備)



ため池点検



路線測量





愛と絆のある農業・農村をめざして
水と土を愛する
なかつちを順次で紹介

大鴨土地改良区 事務長 中村 靖志



大鴨土地改良区で事務長をしております中村靖志です。私は、大学卒業まで陸上競技をしており、前職も運送業と体を動かす仕事をしていました。

なので、改良区に入った時に「1日中机に向かって座っている仕事なんて絶対続かない。3日で辞める。」と思ったのですが、気が付けば29年目に突入しました。あの思いは何だったんだ、よく続けているなど思いながら今に至ります。以上、仕事の話は終わりです。

さて、長男が小4の時に陸上を始めました。私が勧めた訳ではなく、自分からやりたいと言いだしました。そうすると、昔取ったなんとやらで、いろいろアドバイスをしたくなるものです。しかし、先生の言う事は聞いても親の助言は聞こうともしません。それなりに陸上を頑張ってきた者としては、ちょっと納得いかないところです。

そこで、血が騒いだというか、もう、実際に走るところを見せるしかないと思い、四半世紀ぶりに練習を始め、実際に大会に出場することにしました。全盛期には遠く及ばないまでも、小学生の息子には当然、圧勝です。それ以降は一応認めてもらったのか、助言を聞いてくれるようになりました。めでたし、めでたし。

あっ、続きがありました。その後、1シーズンに倉吉市の大会



ジョギングコース
(走るのはいつも夜中)

と県大会(スポレク)の2試合ですが、毎年、大会出場は継続し、今年で復帰後8シーズン目になりました。現役の頃は400mをメインに走っていましたが、今は100mのレースに出場しています。

本当は、復帰レース一回で終わりの予定でしたが、適当に何となくこれぐらいと設定した目標タイムがクリア出来ませんでした。それが不本意だったので、達成したら終わりにしようと思って続けているのですが、毎年、同じようなタイムで僅かに届かないを繰り返しています。

本格的な練習をしている訳ではなく、体を動かしている程度なので、当然といえば当然です。最近では、記録を維持出来ているだけでも良しとするかと、半分開き直っている部分もあります。

まあ、走るだけでも十分、体力や健康維持にはなるのですが、大会に出て、レースの緊張感を味わうというのなかなか良い刺激になります。幸いにも、同世代で同じように大会に出ている方が何人かおられますので、周りが続けている間は私も続けてみようかと思っています。



主戦場 (倉吉市営陸上競技場)

編集後記

蝉が賑やかな時期になりました。息子が虫好きで休みの日は早朝、夕方と虫取りに付き合うのですが、カブトムシが近くの神社で捕まえられる鳥取の自然に感謝しています。

虫取り業務からの解放がいつになることやら・・・と思っているうちに、魚とり、水路の生き物調査と業務追加になりました！
(早く夏、終わらんかな・・・) (福政)

